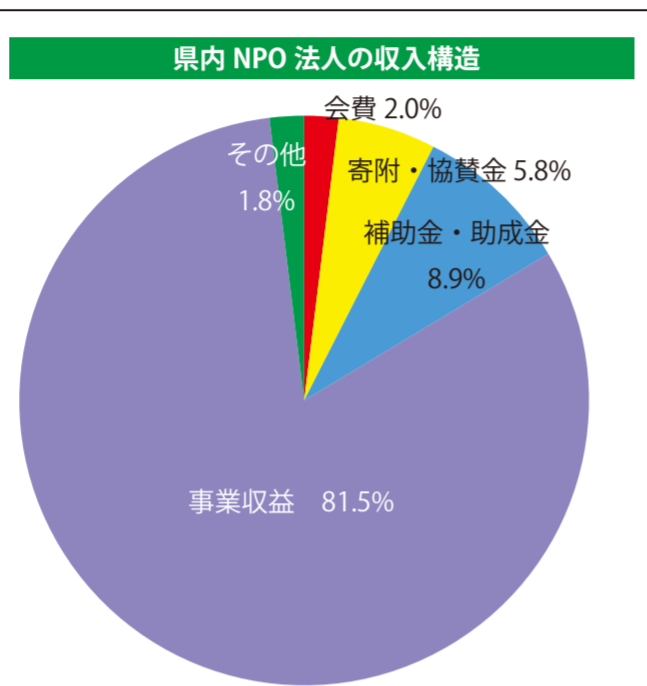




会費収入が伸長、寄附は微減～昨年度 NPO 法人経済調査より

「わかつく」第197号でご紹介したように、昨年度の NPO 法人の経済状況調査によると、経済規模は全体として微増にとどまっています。今回はその中身をもう少し掘り下げてみます。



昨年度との比較		
収入内訳	昨年度	今年度
会費	1.9%	→ 2.0%▲
寄附・協賛金	6.2%	→ 5.8%▼
補助金・助成金	8.4%	→ 8.9%▲
事業収益	81.7%	→ 81.5%▼
その他	1.8%	→ 1.8% -
会費収入合計		
昨年度調査時	127,042 千円 (平均額 336 千円)	
今年度調査時	133,348 千円▲ (平均額 358 千円▲)	
100 万円以上の会費がある団体		
昨年度調査時	23 法人、合計 96,720 千円	
今年度調査時	25 法人▲、合計 107,623 千円▲	
寄附金収入合計		
昨年度調査時	407,656 千円 (平均額 1,050 千円)	
今年度調査時	380,656 千円▼ (平均額 1,023 千円▼)	
100 万円以上の寄附がある団体		
昨年度調査時	35 法人、合計 386,864 千円	
今年度調査時	35 法人 -、合計 358,959 千円▼	

財源構成比率の変化
左の円グラフは今年度調査した、和歌山県内の NPO 法人の昨年度決算より、収入を①会費②寄附・協賛金③補助金・助成金④事業収益⑤その他の5つの内訳に分類した際の比率です。県内 NPO 法人の収益の8割以上が事業収益によっており、傾向はここ最近ほぼ同じですが、注目すべきは会費収入が伸びていること。全体に占める会費の割合は0.1ポイントの増加にとどまっていますが、会費収入総額で見ると、昨年度調査時に比べて約630万円、率にして4.9%伸びています。

会費は NPO 法人を構成する会員からの入金のこと。県内の NPO 法人数の伸びが一段落している状況のなか、会費収入が伸びているということは、ひと団体あたりの会員が

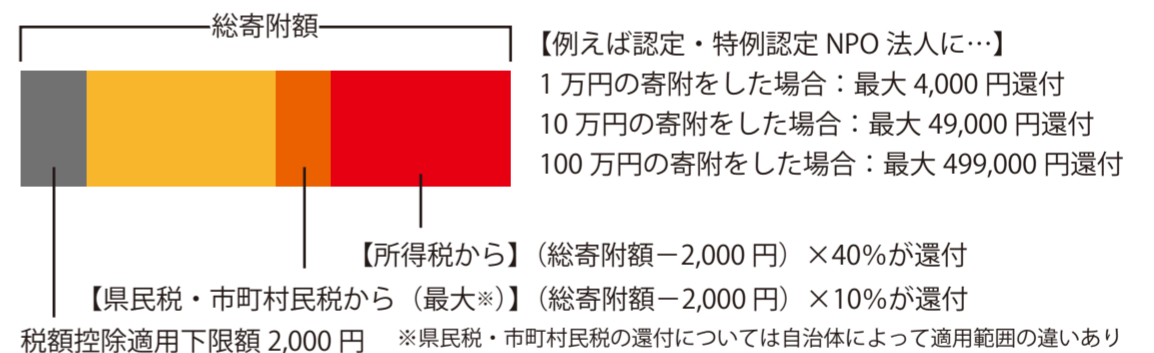
増えていることを示しており、NPO にとっても基礎的な収入を得る力が高まっているとみられます。100万円以上の会費を得ている法人数が増えていることから、それがうかがえます。

寄附は微減、でも期待も
一方、寄附金・協賛金の構成割合は微減となっています。総額は3億8千万円あまりと、率にして7%弱減っています。100万円以上の寄附を得ている法人数は前年と比べても変わっていません。大口の寄附が減少していることが総額を押し下げる結果につながっているようです。

なお、寄附金税制の対象となる「認定 NPO 法人」「特例認定 NPO 法人」でなくても多くの寄附金を受け入れている法人もあり、認定・特例認定 NPO 法人になるメリットが大きいと考えられる法人が少なくありません。

■ NPO 法人への寄附金税制 (個人が寄附をする場合)

- ◆ 一般の NPO 法人に寄附をおこなっても原則として優遇はない
- ◆ 認定 / 特例認定 NPO 法人に寄附をおこなった場合は寄附金税制の対象となり、寄附金額から 2,000 円を差し引いた額の最大 50% が確定申告により還付される



みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- 第12回 貴志川線祭り
貴志川線に乗ってお出かけしませんか。
日時 11月4日(日) 10:00~14:30
場所 貴志川線伊太祈曽駅、伊太祈曽神社
内容 登録有形文化財の車庫でのコンサート、交通安全教室、白バイ展示、運転台で記念撮影、屋台など
参加費 無料(一部有料)
問い合わせ 和歌山電鐵(073-478-0110)
備考 会場には駐車場はありません。電車でお願いします。
- 和歌山社会経済研究所平成30年度講演会
社経研の毎年恒例の講演会。
日時 11月6日(火) 13:00~14:30
場所 ホテルグランヴィア和歌山6F「ル・グラン」
演題 「大規模災害への備え～家庭・地域・職場で必要な取組みとは～」
講師 伊藤毅さん(株式会社レジリエンス・プランニングオフィス 代表取締役)
参加費 無料(要申し込み)
問い合わせ 一般財団法人和歌山社会経済研究所(073-432-1444、FAX 073-424-5350)
- 男の子育てのヒミツ?
男性が子どもと遊ぶことは子どもの発達にとってもいい影響があります。その秘密を学びます。
日時 11月11日(日) 13:30~16:00
場所 和歌山県 JA ビル
講師 松田恵示さん(東京学芸大学副学長)
参加費 無料
定員 30名(要申し込み)
問い合わせ 和歌山イコール会議(wec_1201@yahoo.co.jp)
- 防火アドバイザー研修
住宅防火や心肺蘇生法、AEDを使用するための入門的な内容を学びます。
日時 11月13日(水)・14日(木) 9:30~11:00(どちらか都合の良い日にご参加ください)
場所 和歌山市消防局3階多目的ホール
参加費 無料(要申し込み)
問い合わせ 和歌山市消防局予防課(073-427-0119)
備考 申込みは所定の申込書で。消防局ウェブサイトから入手できます。

災害時ひとりでも多くの方が助かるために… 防災講話&体験学習会 11月10日(土) 和歌山ビッグ愛9階

体験学習会

13:15 ~ 14:15
「防災シャッフル体験」
対象：小学校4年生以上 50名

14:45 ~ 16:45
「避難所運営体験」
対象：小学校4年生以上 50名

参加費：無料
講師：国土館大学防災・救急救助総合研究所
主催：国土館大学同窓会和歌山県支部
共催：NPO法人わかやま NPO センター

【写真】防災シャッフル体験ではカードゲームの要領で防災に必要な知識を学ぶことができます(右上)、避難所運営体験では、学校に見立てた地図を使ってどのように避難所を構築していくかを体験します(右下)



防災講話

13:15 ~ 14:15
「災害情報を防災に生かす」
講師：山崎登さん
(国土館大学防災・救急救助総合研究所教授、元NHK解説委員室解説副委員長)
対象：一般 100名

参加費：無料
主催：国土館大学同窓会和歌山県支部
わかやま NPO センター
共催：近畿労働金庫地域共生推進室

※防災講話は、近畿ろうきん「社会貢献預金・すまいる」の寄附金を活用して実施します。



山崎登さん
元 NHK 解説委員としてテレビでも活躍。災害に関する様々な情報の防災への活かし方をわかりやすく教えていただけます。

事前申し込み必要。参加したいプログラムと、お名前、年齢、連絡先を以下にお伝え下さい。

特定非営利活動法人わかやま NPO センター
TEL 073-424-2223 (平日10時~17時・業務都合で不在ことがあります)
FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp